

## 昭和町立押原中学校「地域学校協働活動」

### 《押原中学校での取組》

平成27年度にコミュニティ・スクールの指定を受けたことをきっかけに、以前から行っていた「学校支援」や「地域との交流活動」について、押原中学校運営協議会に設けた学校支援地域会議がコーディネート機能を発揮することで、学校と地域・関係団体を繋ぐ活動を進めている。地域住民の協力を得るなかで、有価物回収・地域子どもクラブ（児童・園児対象）への活動支援、町民祭りへの自主企画参加等、様々な協働活動を行っている。特に、地区別協働防災訓練は、地域と学校が協働することで、その成果を両者が共有することのできる場となっている。

### 《押原中学校での取組事例》

#### 地区別協働防災訓練

場 所：押原中学校

参 加 者：押原中学校の生徒及び職員、地域住民

活動内容：

地域の防災や環境の知識や技能、関心を育成することで、地域の一員としての意識を高める活動として意義あるものとなっている。学校支援地域会議防災部安全部会を基盤とし、生徒は各地区の防災訓練に参加している。地区によっては、中学生が防災訓練への考えを発表するとともに、さまざまな役割も担っている。町内在住の方々の多くは同校の卒業生であり、地域の学校への関心や支援意識はとても高いものがある。教育活動への住民参画が多角的に行われていることは、地域全体で生徒の育成に努めているとも考えられる。「学校と地域で互いに目標の共有を行い、地域と一体となって生徒を育む、地域とともに歩む学校」という視点からも、押原中学校で行われている協働活動は有効性の高い活動となっている。

その他の活動：

地域子どもクラブの球技大会（野球部・バレー部）、町内小学校への陸上指導（陸上部）を行い、児童との交流を図る中で生徒のキャリア意識を育成している。また、地域の方が、保健体育の授業で、実技指導（剣道）を複数年にわたって行っている。生徒との信頼関係も構築されたなか、学習支援を行っていた。まさに生徒は地域に、地域の方は学校に、という協働活動が行われていたことが印象的である。

